

しでがの通信  
第65号  
羽津小 P・T・A  
編集発行  
発行所 羽津小学校

# 一年を顧みて

P T A 会長 篠 田 勇

春の訪れと共に、五十三年度も残り少なくなりました。大任を仰せ付かりましてから、あわただしい中に早や一年を経過致します。

P T A 活動の目的、これは、私が申し上げるに及ばず、P T A 会則に基づきご承知のことと思います。

私共は、日頃よりP T A 活動を通じて子ども達が健かに成長してくれる事を、ひたすら願って、事業目的を達成する事を目標にし、それには、会員相互が意見を出し合い、こだわりのない明るく楽しく活動出来まよう、総会の席上で申し上げてまいりました。早いもので今年もそれを反省する時機になりました。

私は、この一年間、何をしたらかと反省するにつけ心苦しく、筆を持つ手も洩りがちであります。若

し当初目標の何分の一かでも達成出来たとすれば、本部役員、会員の皆様はじめ教職員、地区各種団体の役員の方々の力強い支援と厚情に依る賜ものと厚くお礼申し上げます。

特に、学校環境の整備(校庭の整地、校庭周囲の擁壁、側溝等)には、地区議員、役員様方のお力添の結果見違える程立派に整備して頂きました。我々P T A 会員の力だけでは出来ぬ問題であり、心より感謝致して居ります。

当地区ではまだ目に余る程の非行化も進んで居りませんが、全国各地では、それが小学生の低学年迄に及んで居るとの事です。それどころか、私達としては最も恐ろしい自殺問題迄も、最近相ついでいる現状です。全国的に広がる

次	一年を顧みて.....	1
安全指導の徹底を期して.....	2	
今年度の反省.....	3	
卒業生に贈るひとこと.....	6	
巣立ちのことば.....	9	
新しい学校の施設.....	15	
常任委員会たより.....	16	

児童生徒の自殺が、社会問題化しているのを機会に、隣の鈴鹿市では、市内の小中学校に対して、自殺防止に力を入れる様、人命尊重の教育の徹底をとの通達を出されました。その通達の項に、友達同志で悩みを話し合える学級集団、何でも打ち明けられる教師や親、温かい人間関係の形成を要望されて居ります。この様な時代こそ、私達会員一同、家庭環境の見直しが一番大切だと思います。

学校に子どもを送り出せば、すべてが教育されるものではありません。現代の子を持つ両親は、家庭教育、躾等が非常に甘いように感じます。「家の子に限ってそんな事はしない」と、誰しも考えていますが、多くの事例で「家の子どもも例外でなかった」と、親が悔悟の涙を流しています。P T A 活動の機会有る度に参加して頂き教師共々この防止活動に協力をお願い致します。

又、少年期よりスポーツを通じ心身共に強い子に育成されるのも

必要かと思えます。幸にして、P T A を初め各種団体、立派な指導者の協力によりスポーツ少年団育成会(野球・剣道・サッカー)も軌道に乗り、活躍して居ります。来年度は、女子ソフトボール部も設けられるようです。会員の方々の一層のご理解を高めて頂き、一名でも多く加入して頂き、心身共に強い青少年に成長されますようお願い致します。

卒業生の皆様おめでとうございませす。心からお祝い申し上げます。六ヶ年間勉強に、運動にと色々励みましたね。ここで学んだ良い事をどしどし生かして、中学校の生活を羽津小学校の卒業生として誇りを持って頑張ってください。

最後に、私の任期も今春を以て満了致しますが、未熟な私に寄せられた皆様のご厚情に感謝し、今後益々当校P T A、教職員の皆様のご活躍とご発展を心からお祈りして、ご挨拶に代えさせていただきます。

### 一年を省みて

副会長 森 憲一

一枚の紙にも裏と表があるように、PTAにも人それぞれの見かたとか、考えが有ると思います。私は長島町の宗林寺の、中川さんの次の言葉が好きです。

「学校教育は先生を、信頼していればいい、PTAが口を出してはいけません。子供達が勉強しやすい、先生達が教えやすい施設とふん囲気、つまり環境作りを精を出すのが、PTAの役目です。」

で、環境作りという面から今年一年を省りみます時、五月早々、別名町の森安吉さんに山砂二屯車ダンブに三十五車分手配いただき、会長さんをはじめ、スポーツ少年団関係の方々に、早朝より運動場の砂の入れ替え作業をしていただいています。

続いて秋の運動会後、森先生より校庭に有る便所の排水が悪いため、四年生の児童が便所掃除に、大変難儀をしているとの事で、本部役員の男の人で排水管を、いけ替えていただいております。

本年はさらに、バザー収益金による防球ネット「高さ五・五メートル×長さ五十四メートル」と、百周年記念残金による、北門の新設と、西門より車の進入を防ぐた

めの、パイプのいけ込み等、学期末に向けて急ピッチで環境がととのっていく事と思えます。

一年間の報告と併せて、夏の環境整備作業、及び、環境整備部の樹木の植樹等、会員さんを始め部員さんの御協力と御奉仕、一年の間どうもありがとうございました。

## 安全指導の徹底を期して

学校長 村上 忠夫

学習から解放された子どもの生活は遊びである。遊びは子どものいのちであるということができません。ところが、子どもの遊びも昔と今とは、ずいぶん違ってきていることは周知のとおりです。昔の遊は屋外中心で活動的であり、

しかも、子どもたちの巧妙な発想を生かした手作りの遊びでした。今は、テレビをはじめ、室内ゲーム、プラモデル等の出現によって屋外での遊びが縮小され、健康には縁遠い箱庭的な遊びになってきています。このことは、子どもの安全教育を考える上に、重要なかわりを持ってきます。

子どもたちは遊びの中で、安全を守る上で大切な反射神経のほか、機敏性、注意集中力、安危に対する判断力等を知らず知らずのうちに習得していくのです。遊びによって護身術を身につけていくことになるのです。これらの望ましい適応力が、閉鎖的な室内での遊びで得られないことは明らかです。

つきに、子どもの遊びで留意しなければならぬことを考えて見ますと、子どもは遊びに熱中します。熱中するのあまり、ころがったボールを追っかけて、いきなり大通りへとび出すことになり、また、高学年になるにつれて、冒険やスリルの大きな遊びを好んでやるようになり、危険の度が大きくなるにつれて、危険が増大することに気づかず、事故につながる場合があります。さきに述べた安全に対する判断力、適応力がまだ十分でないからです。

安全に関する指導では、子どもたちの遊びや、生活経験を得させる中で、安全に対する判断力、適応力をつけていくことが大切ですが、また、それは一朝一夕にしてできることではないので、私ども大人としては、くり返し、くり返しその都度、子どもたちの注意を喚起し、きめ細かな指導を行うことがだいじだと考えます。

学校では、このたびの児童転落事故について指導管理の不行届きを深く反省し、次の事項について特に留意し、安全指導の充実に努力したいと思っております。

○ 窓の開閉に注意し、必要な場合のほか、片側に全開しないこと。

○ 校内外における遊び、廊下、階段の歩行、昇降口の出入りなど、危険防止のための指導を徹底するとともに、校内巡視を丹念に行うこと。

○ 生命保全の意義を強調し、たとえ他意はないにしても、他人を傷つけるような、いたづらや悪ふざけをしてはならないこと。

○ 体育施設、遊具などの安全点検を、さらに入念に実施すること。

○ ご家庭におきましても、以上のような趣旨をよくご理解くださいまして、お子さまの安全について、いっそうご留意の上、ご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 一年間の反省

安全部副部長 稲垣 富子  
安全部に所属させて頂き副部長とは名ばかりで、何をしようといのか不安のまゝ、一年間が過ぎようとしています。

藤井部長さんには心からこの一年間御苦労様でしたと感謝申し上げますと共に、会員の皆さんの御協力ありがとうございました。PTA会則第十二条に安全部II児童並びに会員の安全に関する事、とあります。私が部長として参加させて頂いた中で一端を述べさせていただきます。

六月に立哨委員会があり種々意見、要望等ございました。ほど立哨も定着した感じが致しますが、たまたまおくれを走って行く児童を見かけます。気を付けて行ってネノと祈る気持ちで後姿を見送る時もありました。極力皆んど並んでいける様努力して頂きたい。

七月には例年の如く自転車点検を行いました。自転車の交通方法が新設されブレーキの不良、反射

### 一年間の反省

環境整備部長 土井 米一  
部長に任命されて、あと少しで任期となりました。

始めてこの大役を指名されました当初、どの様に幾つかの行事を成していかか不安でした。

本部役員の方々始め御父兄様、諸先生の親切な御指導、御協力を得る事が出来ました。

六月二十五日小雨降る中を、農協羽津支所の御厚意に依り、貝塚いぶき二十本程いたゞき、校庭内

### 御協力に感謝して

母親部長 藤井 久子

月日が経つのは早いもので、母親部をお世話させて頂いて、早一年が、過ぎ去ろうとしています。何しろ愚鈍な私で、とにかく無我夢中で頑張ってきたが、会員の皆様の御協力で、何とか「形がとれた」という程度の一年でした。この一年間に催した内容と反省を左記します。

○ 五月 給食試食会

福祉保健部の皆様との共催で、一年生の父兄を対象に実施しました。この催しの回数を増やして、尚、多くの皆様に、学校給食を理解して載ける機会が増えたいと思いました。

○ 六月 料理教室

手作りこんにやくと手作り牛乳の作り方他等で、大変参考になりました。

○ 七月 電気に関する講習会

中部電力の御協力に依り催しましたが、内容は、電気知識や、電気製品の簡単な修理の講習を受けました。出席の皆様には、喜んで載けた催しでした。

○ 九月 食品工場見学

豊明市にあるフジパンと豊橋市にあるイチビキ醤油の工場見学を致しました。楽しい一日でした。

○ 十月 バザー

福祉保健部の皆様との共催で、実施致しましたが、多くの皆様の御好意と御協力に依り、多額の収益を上げる事が、出来ました。心よりお礼申し上げます。

○ 十一月 料理教室

## 専門部だより 今年度の反省



弁当のおかずを中心に、簡単な栄養価の高い、おいしいお料理でした。

○ その他、毎月生け花教室  
毎月、二回の催しでしたが、出席載いた会員のお家には、この一年間、きれいな生け花が、飾られた

に移植作業  
 八月二十日の校内除草、枝払い等環境整備作業には、多数の御出席を得る事が出来、短時間において、美しくして頂きました事を、厚く御礼申し上げます。  
 まだまだ学校にはいろいろ補修、整備する点は数々ありますが、今後御父兄の協力理解を得まして一つ、一つ改善致しまして、子供達が、安心して勉強出来る学校にしたいと思います。

色々と反省する点は御座居りましたが、終りにつき心より、お礼申し上げます。

一年間を省みて

福祉保健部 森 源八

昨年四月に新役員として、今年度のPTA事業活動に参加させて頂いた。早や、一年を過ぎようとして居ります。

町代表と福祉保健部長と大役を受け、会員の皆様方には色々、御協力を賜りました事を紙上より、厚く御礼申し上げる次第であります。

福祉保健部として、当初計画をした事業については、無事予定通り実施させて頂きました。その中でも、バザーの開催にあたり、本部役員の方々に始め、特に部員の皆様には、連日ご足労を賜

り、格別の御協力をいただき、大取組金をあげることが出来ました。この努力の結晶は、教育設備の充実に一層役立つことと思います。又、数年来、雨天の為中止になっておりました、親善球技大会も今年は晴天に恵まれ、先生、父兄が、一体となり楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

スポーツを通して、お互いの、親睦をはかり、又、体力向上の為にも、非常に有意義な行事だったと思います。

出来るだけ沢山の会員が参加出来る様、次年度もどしどし新しいアイデアを取り入れ、ますます魅力ある部に育っていくことを期待する次第です。

一年を省みて

文化部長 服部 一二

省みますに、思いもかけない、文化部長と言ふ重責を担い夢中で早一年になろうとしています。

「浅学非才、文学に暗い私。」「しでの」を通じて、会員の皆様方何かに得る事が出来たでしょうか。

唯文化部長担当の内山先生に色々御迷惑を掛け、部員の皆様方のお力添えが、どうやら責任を果たす事が出来ました。紙上でおかりしまして内山先生



部員の皆様はもとより、御協力、御支援戴きました方々に厚くお礼申し上げます。

最後に際しまして、会員の皆様方に一言お願いを申し上げます。

現在P・T・A活動に多くの方々は大なり小なり疑問を持っていてと思います。又、無関心の方、文化部長と言ふ小さい歯車の中でさえ出席は限られた人になってしまふ、この時にこそ、P・T・A・活動は絶対無二の機会であると思えます。何故と申しますと、これからの社会を形成して行く、我々の子供の教育の場が、教育が、体力が、育成が、どうなっているかが一番よく分かるからです。

又皆様が分かって、よく御理解して頂き子供の教育の場が、より以上明るいすまい学園にするため努力しなければならぬし、又して欲しいものです。

或政治家が両手の声「限られた人、音のする声」は何日でもどこでも聞く事が出来るが、残念な事に片手の声「音の出ない陰の声」がなかなか聞けないがその声が一番聞きたい。と言われた事を思いださずにはいられません。

どうか会員の皆様以上のような事を深く厚く御理解して頂きまして「しでの」に片手の声、生の声をどしどし記載して頂きますようお願い致します。

この「しでの」を通じてP・T・A・活動に新風を吹き込んで下さい、その意気が先生方はじめ皆様方の手で明るくすまい学園ができる事を信じます。と共に益々活気ある発展をとげるようお祈りしてペンを置きます。



生花教室に参加して

山手町 光本 桂子

「おっ、春らしいなあ」全く美的センスのない主人が会社から帰るなり一声、小六の長男は、「これ、何の花」、小二の長女は、「きれいやなあ、麦の穂どうして花にするの、勿体ないなあ」……

今日の花材は、萌え黄色に芽をふく紫陽花の枝、青々とした麦の穂、黄色い小花を可憐につける菜の花、真紅のガーベラ、この四種

が先生の御指導よろしく調和よく活けられ、我が家の暗く狭い玄関に、一点の光明をかざし、まだ二月も初めというのに、一足早い春を告げたのです。母親部主催の「生花教室」に参加する様になっ

てから、少くとも我が家の家族が花に関心を示し出したのである。娘の頃に習得した生花の技術も忘れかけていた矢先、この好機を得、錆びかかった剣山と、十余年振りに再会、花の心をつかむ難しさを身をもって感じ、花と会話をしつつ、一本一本活ける気持は、ゆとりのない、忙しさのみに追われる私の殺伐とした生活に、ほっとする心の安らぎを与えてくれるのです。

る涙をこらえ、いつとはなく自分の活けた盛花のある一本の花に焦点が重なり、その華麗に咲き誇るピンクの花が憎くなり、ブイと花の向きを変えてしまったのです。でも、その一輪の花は、まるで私の心の狭さ、みにくさをあざ笑うかの如く、翌朝、昨日にも増して大きく花びらを開き、ほのかな香りを投げかけたのです。昨日、真剣に悩んだことが、清らかに咲くこの花を眺めている限りでは、何と些細な事であったかを知らされ、花の前に屈服せざるを得ませんでした。

花との折々の触れ合いを大切にする為にも、消極的で、悲観的な自分の心を見つめ直す為にも「生花教室」の続く限り、花との語り合いを続けたいと念願しております。

料理講習に参加して

長崎エミ子

教少ない私のレパートリーを一つでも増やせたらと今回二度参加させて頂きました。その都度感じた事ですが、さすが皆家で腕をふるっていらっしゃるお母様方ばかり、花嫁修業のお料理教室とは全く違った雰囲気です。

きばきと時間の無駄がありません。一寸ぼんやりしているといつの間に調理されていて要領の悪い私

などウロウロしているうちに終わってしまいました。出来上がった料理も各テーブルごとに庖丁の入れ方や盛り付けが違います。雑談の中にも調理方法の情報の交換がなされる目と耳で吸収させて頂き楽しいひとときを過ごさせて頂きました。そして終わった後も一つ感じた事は、さすが焼物の町の学校だけにお墨は沢山ありましたが他の調理器具が少なく、私共の子供の頃と余り変わりなく計量スプーンやカップ等々あちこちのテーブルへ借り歩いていると学生時代がなつかしくさ思い出しました。校舎を初め他の諸設備がよくなったのに比べると余り変っていない様に思いました。今各家庭にはレンジ、オーブン、カラフルな鍋等々が並び昔の面影もない程に改善されている今日、私共はともかく時間内にしなくてはならない子供達の為にも、もう少し基本的な調理器具が各テーブルごとにあればいいなあと思いつつ、おいしく出来上がったお料理に舌づつみをうった次第です。

料理講習会

別名2 中村 幸代

何となく人の中に出ることの億劫な私も、学校の料理講習会には、

何時も参加させて頂いて居ります。毎日の献立を考える事は、本当に大変ですね。簡単で、安く、おいしい物を求めて、皆様も雑誌、テレビ、教室等で苦心されて居られる事と思われま。

料理とは、本来「材料」を「調理」する意味で、西洋料理は「理」は多くて「料」に乏しく、中国料理が万人向きで「料」「理」共に優れ、日本料理は「料」が多く「理」が少ないと言われて居ります。

教室では、これらの良い所を色々組合わせて、一般家庭向けに献立が考えられているので非常に参考になります。

「この様にすれば、うちの子も食べてくれるわ」

「こんな利用法もあったのね」

等々の会話が入りまじりながら、予定の料理が出来上がります。

この後の試食会が、又、楽しく、いつも一人で食べる昼食と違って、皆んなでいただくお食事は、又格別なものです。

次回の講習会にも参加させて頂いて下さたく、いつも心待ちにして居ります。



卒業生に贈る

強い心

ゆたかな心



校長 村上忠夫



みなさんの卒業記念文集を楽しく読ませていただきました。

楽しかったこと、つらかったこと、友だちとけんかしたこと、先生に叱られたことなど、それぞれの思い出の中に、六か年の学校生活に名残りを惜しむ気持ちにじみ出ていて、みなさんのさわやかな心を感じ、胸を打たれました。さて、卒業を間近にひかえたみなさんにひとこと申し述べてみなさんを送り送ることばにいたします。

人間は、だれでもつらいことや、苦しいことは、なるべくさけて通りたがる「弱い心」の一面を持っております。人のいやがることは、自分にとっても、決してころよくできることではありません。この「弱い心」に打ち勝つには大へんな努力や忍耐をとまなう「強い心」が必要です。昔から「苦勞は

買ってでもせよ」ということばがありますが、つらいことや苦しいことにこそ、進んであたるような「強い心」を持ってということです。

苦しいことをさけて通ろうとする「弱い心」に打ち勝ち、困難なことの中からだをぶつけてためしてみる「強い心」をきたえてほしいものだと思います。

○ 昨年の九月はじめ、みなさんといっしょに「緑の学校」に行きました。センターから楓谷までの野外学習の道へには、初秋のおとづれを知らせる野草が咲きはじめていました。ハギの花、クズの花、アキアザミなどの花の名を告げて、花に心をひかれる人は少ないようで、さびしい気がしました。おやつや、室内ゲームに夢中になるみなさんの心もわかりますが、季節のうつりかわりに気づき、自然の美しさに目をとめる豊かな心

を育てたいものです。みんながこうした豊かな心の持ち主になれば、学校のアサガオの鉢をひっくり返したり、公園の花だんをふみあらすようないたずらをする人はなくなるはずで、広く豊かな心を持つことは、現在の私たちの生活に必要な、とても大切なことです。

○ 「強い心・豊かな心」 このような意味をこめて次の詩を紹介したいと思います。ぜひ、味読してください。

王さま (六年児童詩)

「ワーツ」みんなげた箱の所へかけていった。 だけど小森は王さまみたいに歩いていく。

「早く行っても仕方がない」 みんなげた箱でキャーキャーおし合いをしている。

ぼくは小森がおしている所を見たことがない。

二回、三回、小森のまねをして ゆっくり歩こうとしたができなかった。

小森は 体ががっしりしているけど心も しっかりしているよ。



卒業生に

贈るひとこと

職員から



教頭

小塚久美雄

健全なる精神は健全なる身体に宿る



六年一組

川村 審也

希望は人間の胸の中のつきぬ泉



六年二組

市川 淳子

希望を胸に、常に努力、反省、忍耐を忘れないでください。



六年三組

小谷 博美

昨日という日は、もどってこない。 今日という日を大切に……



六年四組

小林 秋次

明日の足あとは、今日より確かであるように努力してください。



六年五組

松井 妙

善い事は積極的に、そして真剣に取りくんで、最後までやりぬこう。



五年一組

門脇 秀雄

卒業おめでとう。目標をめざして、まっすぐに進んでください。



五年二組

川瀬智枝美

ご卒業おめでとう。健康で伸び伸びとした中学生になってください。



五年三組

伊藤 美穂

御卒業おめでとうございます。明るく、強く、正しく前進しよう。



五年四組

桜井美佐子

百里の道も一歩から。誠実に、根気強く努力して行ってください。



五年五組

安藤 勤

卒業おめでとう。羽津中学校での御健闘をお祈りします。



四年一組

森 昭雄

ご卒業をお祝いし、ご多幸を祈ります。



四年二組

隅田 信子

自分の行動に責任をもち、がんばりぬく子になりましょう。



四年三組

菊村 文子

希望をもって進みましょう。



四年四組

小紫恵美子

ご卒業おめでとう、健康で明るい人になってください。



四年五組

石咲 晴美

「今」というトキをせいっぱいに



三年一組

石川 幸弘

自分の希望に向かって努力をすること、これが人生だと信じている。



三年一組

東 照代

卒業おめでとう。さあ、希望に向かって新しい一歩を踏み出そう。



三年二組

水谷 敏夫

「今日のことを明日にのばすな」 いいことばですね。



三年三組

岡田ふみ子

幸せは、自分でつくるもの。「素直な心」で、努力しましょう。



三年四組

長谷部規子

花よりやさしく、青空より明るい心を、いつも わすれないでね。



三年五組

平子伊都子

「幸せは自分の手で」常に健康に留意して 努力を惜しまないで



二年一組

倉田喜美子

美しい心がたくましいからだに辛くも支えられる日がいつかはくる



二年二組

岩井千代子

中学生としての自覚と希望をもち、友情を大切に前進してほしい。



二年三組

伊藤 静子

ご卒業おめでとうございます。常に努力を忘れず前進しましょう。



二年四組

広瀬 松代

ご卒業おめでとうございます。心と身体の強い人になってください。

# 築立ちの ことば



六 年 一 組

野田 秀樹  
中学校へ、行っても、前進あるのみ。これからも、がんばるぞ。

村上 憲  
ぼくは、中学生になったら、今までより、もっとがんばりたい。

近藤 浩  
中学校へ、行ったら、中学生らしく、はじめ正しい生活をしよう。

生川 哲也  
もう小学校とはお別れだ。中学校に行ったら何事もがんばろう。

後藤 直哉  
中学校にいったら、勉強、スポーツにはげよう。

川上 英樹  
六年間の、にがい思い出。良い思い出を忘れないでがんばろう。

渡辺 広久  
学校の先生、そして学校、ほんとうにありがとうございました。

生川 明  
新しい羽津中学、新しい希望に、向かって、ダッシュ。

一木 正聡  
もうすぐ中学生、羽津小学校とももう少しでお別れだ。

中西 保  
ぼくは、中学校にいったら、学校であったできごとをわすれない。

山田 剛司  
中学校生活を、一日一日大切に、すごしたい。

服部 浩二  
中学生になったら、小学生気分ではなく勉強スポーツにはげみます

佐藤 恵一  
中学校へ行っても小学校生活を忘れずに運動に勉強にはげみます。

橋本 司  
卒業しても、勉強も運動もいっしょうけんめいに、がんばりたい。

前川 幸司  
中学校に行ったら小学校よりもっとがんばりたいと思います。

田中 陽  
中学に行っても、小学校の思い出をわすれないでがんばろう。

鹿島 徹  
中学にいったら、勉強に、運動にいっしょうけんめいがんばろう。

奥田 成義  
中学生になったら、勉強、スポーツに、はげんでがんばろう。

森 茂男  
中学生になったら、もっと勉強に、クラブに、はげみたい。

葛山 正也  
中学生になっても、よく運動してよく勉強できるように努力しよう。

間瀬 勝弘  
中学生になったら、勉強もがんばるけど、運動もがんばりたい。

伊藤 佳純  
中学生になっても、友情を大切にしたいと思えます。

内田 智子  
努力に、努力をかさねてがんばろう。

森 晶子  
いつでもどこでも前進あるのみ。

伊藤 佳世  
小学校から中学校、遠い感じがしますが、何事にも努力しだい。

梶原 幸子  
中学生になったら、計画を立てて、しっかり勉強をする。

寺村 和美  
中学生になったら、勉強も運動もがんばりたい。

伊藤 智子  
美しい日だまりに包まれ、中学校へ、希望と不安で、いっばいです。

小川るり子  
もう一度、小学校生活を、ふりかえってみて……。

森 千秋  
小学校生活も終わり、もうすぐ中学校生活が始まる。がんばろう。

生川ゆかり  
中学生になったら、頭の回転を速くし、背をのばそう。

米村 直美  
楽しい小学校生活も終わり。中学校に行ってもがんばろう。

二年五組 平野 隆子  
計画と努力の日々を重ね、中学生らしい生活をしてください。

二年六組 平田 清則  
志を立ててたゆまずつとめれば、必ず成就する。

一年一組 溝口 保子  
男は 男らしく。女は 女らしくあって ほしい。

一年二組 大河内 素  
ご卒業おめでとう。健康に気を付けてよい中学生になってください。

一年三組 簡井 和子  
卒業おめでとうございます。挨拶のできる子になりましょう。

一年四組 山田 芳枝

一年五組 高橋てる子  
千里の道も 一歩から その一歩を大切に進んでいきましょう。

一年六組 鏡味 隆雄  
求めよ さらば 与えられん 与えよ さらば 求められん。

音楽専科 山本 文  
音楽の美しさや楽しさのわかる心の豊かな人になって下さい。

図工専科 中林 るみ  
よりかしこく、よりやさしく、よりたくましく。

図工専科 内山 治男  
道端の雑草のように、風雨に負けず がんばって下さい。

祝卒業  
自分自身を大切にして下さい。

伊藤 光子  
御卒業おめでとう。中学生になってもしっかり努力して下さい。

矢田 木角

主 事 田中 久次

事務補 川合 淳子  
六年生のみなさん、卒業おめでとう。前向きな姿勢でガンバレ!!

伊藤 栄美  
卒業おめでとう。いつまでも、元気いっばい、がんばって下さい。

水谷富美子  
美しい やさしい心を、いつまでも大切にしてください。

給 食 伊藤 栄美

給 食 大河内サト

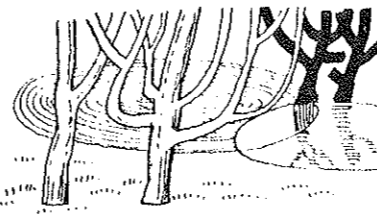
給 食 伊藤としゑ

給 食 服部 初美

給 食 山本千香子

給 食 横山 康子

給 食 伊藤 佳純  
御卒業おめでとうございます。りっぱな 中学生になって下さい。



倉橋 博美  
思い出いっぱい羽津小学校、お世話になった先生方、さようならぬけるような 青空を飛び、鳥のように 広い心を、

新田真由美  
六年間の思い出を、大切に、中学校に行ってもがんばります。

山口 美紀  
何事にもくじけずに、未来への道を、しっかりと歩いていこう。

伊藤 有美  
中学校へ行ったら、今までより、もっと勉強にはげようと思う。

別所 里美  
中学生になったら、勉強などを力いっぱい、がんばりたい。

六年 二組

安井 治  
中学校生活も 楽しくすごそう。

阿部 卓也  
かよいなれた小学校もお別れ今度は新しい中学でがんばります。

北村 健  
小学校生活は楽しかった。中学生になってもがんばる。

大空 英樹  
中学生になっても、勉強にはげみたい。

田中 修二  
小学校の思い出を大切に、中学生になっても、がんばります。

高士 輝直  
小学校ともいよいよお別れだ。中学生になっても、がんばろう。

伊藤 徹志  
小学生から今、飛び立つ。中学生になっても運動、勉強にはげむ。

山本 真也  
思い出深い六年間だったが、中学生には明日への希望がいっぱい。

浜野 健  
小学校とはおわかれだけど中学校に行ってもがんばる。

中嶋 秀夫  
中学生になったら、勉強に運動にはげみたいと思います。

阿部 勝宏  
先生、小学校よきようなら。中学校では、がんばるぞ。

大森 俊樹  
未来への希望と夢をこの手に、にぎりしめ、今、旅立つ。

森 栄作  
一つずつ進級することによって、努力しよう。

生川 治  
六年間くいのないようにやってきたつもりだ。中学生もがんばろう。

井上 信幸  
中学校は、もうすぐだ。だからがんばろう。

六年 三組

林 瑞恵  
思い出多い小学校生活、中学校に行っても、がんばろう。

駒田 亘彦  
六年間のいろいろな 思い出をいつまでも、大切に進学したい。

石田 竜末  
中学生になっても、勉強や運動にはげんで、中学生らしくなります。

岩崎 篤史  
この六年間、いろいろな事があったけど、これからはがんばるぞ。

篠 博之  
中学校に行っても、先ばいたちに負けないように、がんばろう。

山本 勇  
これからは、中学生。小学生の時のあまさをひきしめていこう。

竹内 保樹  
いろんなことがあった六年間。この思い出はいつまでも忘れない。

山本 善隆  
もうすぐ中学校に 入学します。小学生のみなさん、さようなら。

竹中 秀範  
お世話になった先生方、六年間どうもありがとうございました。

田中 康裕  
こんどは、新しい中学校だ。気持ちをひきしめて、行動しよう。

田中 直紀  
小学校が終わった。明日への希望を大きくもとう。

神田 宏務  
中学生になっても がんばります。

小川 恭司  
中学生になっても、勉強、運動を、力いっぱいしよう。

林 能人  
中学生になっても、勉強、運動を、小学生よりも、がんばろう。

福山 和久  
中学生への出発。新しい人生の第一歩を、大きく踏み出そう。

前原 学  
中学生になっても、大きな夢を持ち、勉強に運動にがんばる。

西川 弘子  
中学生になっても、何事にもくじけずがんばろう。

黒田 幸子  
もうすぐ卒業、新しい明日に向かって歩いていこう。

加藤 芳子  
先生方お世話になりました。中学へ行ってもがんばります。

小原 尚子  
中学になっても、何事にもがんばって 勉強しよう。

松山 里智  
さようなら。小学校生活を無駄にせず、中学校でもがんばります。

六年 四組

赤塚江美子  
楽しかった学校生活が 終る。これから 一生けんめいがんばろう。

花井富士子  
わたしたち、最上級生は、年下の人たちに、良い思い出を残そう。

森 直美  
思い出多い小学校を卒業し、中学校に進学。新しい門出に全力を、

津滝 郁子  
六年間が夢のように過ぎてしまった。二度とない思い出が……。

藤井佐恵美  
とびらをあげれば、別世界その新しい世界にむかって、はばたこう。

鈴木 里美  
時間は、どんな金持ちでも買えないという。時間を大切にしよう。

高森 栄二  
中学生になっても、勉強や運動をいっしょうけんめいやろう。

森 和也  
六年間、いろいろな事があった。中学校でもがんばろう。

鈴木 和紀  
中学生になったら勉強と運動をがんばろうと思う。

長谷川 司  
中学生になっても勉強をがんばっていきたいと思う。

田中 修二  
小学校の思い出を大切に、中学生になっても、がんばります。

高士 輝直  
小学校ともいよいよお別れだ。中学生になっても、がんばろう。

伊藤 徹志  
小学生から今、飛び立つ。中学生になっても運動、勉強にはげむ。

山本 真也  
思い出深い六年間だったが、中学生には明日への希望がいっぱい。

浜野 健  
小学校とはおわかれだけど中学校に行ってもがんばる。

中嶋 秀夫  
中学生になったら、勉強に運動にはげみたいと思います。

阿部 勝宏  
先生、小学校よきようなら。中学校では、がんばるぞ。

大森 俊樹  
未来への希望と夢をこの手に、にぎりしめ、今、旅立つ。

森 栄作  
一つずつ進級することによって、努力しよう。

生川 治  
六年間くいのないようにやってきたつもりだ。中学生もがんばろう。

井上 信幸  
中学校は、もうすぐだ。だからがんばろう。

六年 三組

林 瑞恵  
思い出多い小学校生活、中学校に行っても、がんばろう。

駒田 亘彦  
六年間のいろいろな 思い出をいつまでも、大切に進学したい。

石田 竜末  
中学生になっても、勉強や運動にはげんで、中学生らしくなります。

岩崎 篤史  
この六年間、いろいろな事があったけど、これからはがんばるぞ。

篠 博之  
中学校に行っても、先ばいたちに負けないように、がんばろう。

山本 勇  
これからは、中学生。小学生の時のあまさをひきしめていこう。

竹内 保樹  
いろんなことがあった六年間。この思い出はいつまでも忘れない。

山本 善隆  
もうすぐ中学校に 入学します。小学生のみなさん、さようなら。

竹中 秀範  
お世話になった先生方、六年間どうもありがとうございました。

田中 康裕  
こんどは、新しい中学校だ。気持ちをひきしめて、行動しよう。

田中 直紀  
小学校が終わった。明日への希望を大きくもとう。

神田 宏務  
中学生になっても がんばります。

小川 恭司  
中学生になっても、勉強、運動を、力いっぱいしよう。

林 能人  
中学生になっても、勉強、運動を、小学生よりも、がんばろう。

福山 和久  
中学生への出発。新しい人生の第一歩を、大きく踏み出そう。

前原 学  
中学生になっても、大きな夢を持ち、勉強に運動にがんばる。

西川 弘子  
中学生になっても、何事にもくじけずがんばろう。

黒田 幸子  
もうすぐ卒業、新しい明日に向かって歩いていこう。

加藤 芳子  
先生方お世話になりました。中学へ行ってもがんばります。

小原 尚子  
中学になっても、何事にもがんばって 勉強しよう。

松山 里智  
さようなら。小学校生活を無駄にせず、中学校でもがんばります。

六年 四組

赤塚江美子  
楽しかった学校生活が 終る。これから 一生けんめいがんばろう。

花井富士子  
わたしたち、最上級生は、年下の人たちに、良い思い出を残そう。

森 直美  
思い出多い小学校を卒業し、中学校に進学。新しい門出に全力を、

津滝 郁子  
六年間が夢のように過ぎてしまった。二度とない思い出が……。

藤井佐恵美  
とびらをあげれば、別世界その新しい世界にむかって、はばたこう。

鈴木 里美  
時間は、どんな金持ちでも買えないという。時間を大切にしよう。

高森 栄二  
中学生になっても、勉強や運動をいっしょうけんめいやろう。

森 和也  
六年間、いろいろな事があった。中学校でもがんばろう。

鈴木 和紀  
中学生になったら勉強と運動をがんばろうと思う。

長谷川 司  
中学生になっても勉強をがんばっていきたいと思う。

先生に学んだことを忘れずに中学校生活をがんばります。  
中錦 義文

もうすぐ中学校だ。勉強に運動に、がんばろう。  
瀬川 清師

ぼくは、中学生になっても、勉強と運動にはげみます。  
藤井 由久

思い出多い六年間、楽しい事、つらかった事が、胸いっぱい広がる。  
大庭 孝幸

ぼくは、中学生になっても、勉強と運動にがんばります。  
須藤 昌樹

ぼくは、中学校にいても、勉強と運動に、がんばります。  
広瀬 吉治

思い出多かった六年間の思い出を忘れず中学校でもがんばります。  
山下 法久

中学生になったら、勉強を、がんばりたいと思います。  
杉山 正和

中学生になっても、勉強と運動に、がんばりたいと思う。  
伊藤 克浩

いよいよ中学生だ。心を入れかえ新たな道へと、つき進もう。  
佐々木邦泰

小学校生活を大切に、中学校に行ってもガンバろう。  
木滝 稔

中学生になったら、もっと勉強や運動をがんばります。  
櫻野 幸治

中学生になったら勉強をがんばらないといけないと思います。  
山中 浩

ぼくは小学校生活で勉強が余りできなかったので中学校でがんばろう。  
山田 智子

いよいよ中学生。新しい道を一步、確実に進んでいこう。  
本谷 智子

勉強とスポーツの両立にがんばりたいと思います。  
森 里美

六年間の思い出をいつまでも、大切にしたいと思っています。  
長野 恵子

楽しかった六年間の思い出を大切に中学校でも努力します。  
伊藤佳余子

中学生になっても、勉強とスポーツを、小学校以上にがんばろう。  
金子 都

中学生になっても、何でも話し合える友達をつくろうと思います。  
箸中実和子

小学校生活の思い出を大切に、中学校に行っても、がんばりたい。  
近藤 真弓

中学校に入っても、小学校以上にがんばりたいと思います。  
大野 明美

これからも、勉強や運動にがんばろうと、思います。  
館 祐子

中学校へ行っても一日一日を大切に楽しくすごそう。  
山本 陽子

中学生になったら、何事も努力し最後まできちんとやりとげよう。  
河野由利子

中学生になったら、勉強に運動にがんばりたいと思います。  
河村はるみ

先生・別れる友達、思い出いっぱい残る羽津小学校よさようなら。  
伊山久美子

中学生になっても、勉強や運動にはげみ、努力したいと思います。  
館 安美

中学生になったら、何事も、今までの以上にがんばりたいと思います。  
森 千尚美

人のいいなりにならず自分の考えを持って努力したいと思います。  
葛西 清江

中学へ行っても先生に教えてもらったことを忘れずがんばります。  
山竹 優子

自分の道は、まよわずまっすぐ進もう。  
森 茂人

中学生になったら、きぼうにもえて、一步一步進もう。  
杉本 修治

六年間の 思い出は、いつまでも、わすれないように、したい。  
篠田 博志

小学校の思い出を心にのこし中学生になってもがんばろう。  
福沢 鶴松

六年間の思い出を、大切に、中学生になっても、がんばります。  
内田 清

中学生になっても、思い出を大切に、がんばろう。  
内野 和英

小学校の勉強をいかし、中学生になっても、忘れずがんばろう。  
小松 英夫

六年間の思い出の中でうれしかったことは特に忘れないうらう。  
加藤 優治

六年間の思い出を忘れずに、中学校にいてもがんばろう。  
高橋 敏

もうすぐ中学校という道をあゆむ。小学校の思い出をあとにして。  
高橋 敏



この短い六年間を、胸にかみしめながら中学校でもがんばります。  
藤田 弘信

友と学んだ六年間。楽しい思い出をいつまでも心に残したい。  
広瀬 智章

いよいよ中学生、大空にはばたく気持ちでがんばるぞ!!  
高橋 光男

六年間の思い出を、忘れずに、がんばっていかうと思う。  
渡辺 正博

六年間の思い出をたいせつに、中学校に行ってもがんばろう。  
福田 元也

明日への、希望と不安を背に受け中学校での第一歩をがんばろう。  
吉沢 利治

小学校の思い出を大切に、中学生になってもがんばろう。  
小川 泰平

楽しかった思い出を忘れず、中学校にいてもがんばろう。  
室田 紀男

あっと言う間の六年間。この数々の思い出を、大切にしたい。  
小野 隆

自分で選んだ道だ。新しい心はいれかえ勉強にはりきっていかう。  
谷口 功一

森 訓子

小学校生活を終え、いよいよ中学校です。今まで以上頑張ります。  
近藤 真弓

この学校で、毎日勉強した事を、私の大切な思い出にしておこう。  
長坂 明美

さようなら、思い出多い六年間。こんにちは、夢ふくらむ中学校。  
細谷 朋美

中学になっても、フアイトや、希望を持って、がんばっていかう。  
相松 君枝

楽しかった六年間、中学生になっても、何事にも負けず頑張ろう。  
森 可奈子

思い出をいっぱい持って、中学校へ進みます。小学校、さようなら  
松永 千佳

小学校生活もこれで終わりです。中学校にいてもがんばります。  
森 いづみ

中学校に行っても、小学校生活の思い出を忘れず、がんばります。  
平谷しのぶ

思い出を忘れず、がんばります。中学生になっても、六年間の思い出を大切に、歩んでいこう。  
服部 直子

中学生になっても、新しい気持ちで行動し、思い出は大切にしよう。  
広瀬 みか

思い出深い小学校、さようなら。中学生になってもがんばろう。  
伊藤 明美

中学校に入っても、小学校以上にがんばりたいと思います。  
大野 明美

これからも、勉強や運動にがんばろうと、思います。  
館 祐子

中学校へ行っても一日一日を大切に楽しくすごそう。  
山本 陽子

中学生になったら、何事も努力し最後まできちんとやりとげよう。  
河野由利子

中学生になったら、勉強に運動にがんばりたいと思います。  
河村はるみ

先生・別れる友達、思い出いっぱい残る羽津小学校よさようなら。  
伊山久美子

中学生になっても、勉強や運動にはげみ、努力したいと思います。  
館 安美

中学生になったら、何事も、今までの以上にがんばりたいと思います。  
森 千尚美

人のいいなりにならず自分の考えを持って努力したいと思います。  
葛西 清江

中学へ行っても先生に教えてもらったことを忘れずがんばります。  
山竹 優子

かえりみて  
會計 森 和一  
先生方をはじめ、皆様方いろいろお世話になりながら、私の末娘も小学校生活六年間を終ることにになりました。本当に有難うございました。紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。  
扱て、今回「しでがの」に、何か書くように仰せ付かりました。私も、教育に無関心であったわけではありませんが、又関心が満ち満ちておられません。でも、時



々日本経済新聞の月曜日発行の紙面に掲載されている、教育欄には殆んど、目を通して居ります。  
去る、二月五日には、遠藤周作氏が「己自身こそ己を作る」と題して、書いて居られました。  
「教育というのは結局他人からしてもらうことではない。自分が自分になることである。どんな環境におかれても、その環境から何かを吸いあげる人がいる。」と書きはじめていました。  
この場合、「教育」とは、自身自身の精神形成することであると思ひますが、知識取得についても同じであると思ひます。  
責に任ずる、ということとは、大変なことであると思ひます。だから、誰でも、失敗、は外部、のせいにします。  
子供の六年間の小学校生活を、親として、三十数年以前の自分達の小学校生活を思い起して、かえりみて、子供の為によりよく、支えになってやれたか、を反省する次第です。  
「幸」とは何か? 一人一人、顔かたちが、違ふように、一人一人「幸」が違ふと思ひます。が、顔かたち、は、顔かたち、であるように、「幸」はやはり「幸」です。父や母が、私を育ててくれました。やはり、私達子供を「幸」にと。私も子供達を「幸」に、育

てているつもりです。そうして子供には、精一ぱいに生きる様に、努力させるつもりです。

それにも拘らず、或は、私も反面教師ではなかったか、と反省することもあります。

何はともあれ、一つの時期は終りました。

卒業

羽津中町 黒田 敬子

泣虫が早くも卒業、なんとか強くなれと思いついて、タイムの仕事に出て早六年、強くなりすぎたかな。

今度は優しさを伸ばそうと思いついて始めて二年、木々も子供の成長と共に枝も伸びて行く、鉢を入れる時子供達を前にして、あ、が良い、こうが良い、と言われながらも、枝は伸びても全体の木姿としては、切ってしまうなければならぬものもあるし、強い枝を切った時は、鉢にもうもれている根迄も切り除かなければならず、子供達にも、不要な枝にならないように、土にしっかりと根をおろし、どんな雨や風にも負けないようにと

植物を借りて、子供共々勉強して行く今日この頃です。

よまいごと

細谷 明宏

「北に筑波峰、西に富士、前には江戸の清流を……」と校歌を口ずさみながら二十数年ぶりに、かねての願いを果して母校を訪ねた。校舎は木造二階建てから三階コンクリート製になって、感触は冷たかった。泥にまみれて遊んだ校庭もアスファルトで埋られ、あたゝかい土はなかった。臭さを我慢して手作り栽培した講堂裏の畑は講堂ごと消え去って、アルミサッシの小さな温室になっていた。中に咲いていた名も知らぬ美しい花は妙に印象的であった。学校のすぐ裏の江戸川堤の桜並木は一本も残っていないし、土手の道はアスファルトに白いラインが引かれ、自動車が続々と行き去りし、排気ガスの臭いだけが残されていた。如何に街はずれといえども、やはりいまや大都会の小学校の姿となっていた。

卒業以来、想いをこめて訪ねたのはこれが初めてではなかったが、今回ほど感慨大きいものはなかった。

昭和三十年代以降の経済発展は世界にも稀な水準と速度で進み、

オートメーション、機械文明、消費革命、モーターゼーション等々の言葉と共に、昭和元祿の花を咲かせていると云う。近代化が進み総てが便利になった。ボタンを押せば人間は殆んど仕事を機械にやらせられ、生活の快適さを謳歌している。確かに、コンクリートの方が木造よりも堅牢で機能的だ。土の道や校庭よりもアスファルトの方が、泥にまみれず砂ぼこりにならず、何かと都合が良い。従ってこの変貌は当然だし「ふたむかし」の年数経過の証明として肯定的に受けとめるに極めて素直である。

だが、どう理屈をつけても、気持は釈然としないのである。

久しぶりに帰省して出逢う町の顔は変わっても、母親の着物姿と食卓とみそ汁の味にはジーンとさせられる。単なるノスタルでもない。母校のあの木の感触が、土のかおりが、自然のいとろな心が心をなごませていた。その一つでも残っていて欲しかった。電化製品にうづもれ、氾濫する車の中を走り、コンピュータで人生を決める。そんな世の中になっても、自然を伝統を社会の一隅にでも、いつまでも、どうしても生き残していかなければと思う。

さてもこんな事を考え込んでしまふのは、エンジニアの端くれと

して機械化文明の推進に一役買って来たと言ふ気負いの反作用なのか、いや本来人間に内在するものへの素直な回帰なのか、それともただただ重ねた馬令のなせるわざにすぎないのだろうか。

卒業する我が子へ

別名二丁目 竹中

当地へ参ってはや七年、幼稚園で一諸に照れながら遊戯をしたのは、ついこの頃のように思います。が、もう父親よりも大きく、考え方も一面は幼いながら、他面では、多少子供っぽい親よりも堅実な面のある新中学生の誕生が間近です。数え十になるまでは病気がちだという古い諺の通り、小学生の前半は分病院通いも多かったのに、今ではすっかり丈夫になって一安心しています。

自然の恵の多い所に住まわせていただき、古い由緒ある小学校で熱心な先生と、卒直な友達と一諸に勉強させていただいたお陰で、皆と一諸にのびのびと楽しんで勉強を進めているようで、又とない学校であったと、感謝の気持ち一杯でございます。

今の世の中、中学・高校と進むにつれて、狂気のような勉強になり勝ちですが、友達のことを考え、自分本位にならず、一生懸命に勉

新しい学校の施設

このたび学校に次のような施設設備を完成していただきました。これもPTA、地区の皆様方の温いご援助、ご協力の賜と深く感謝しております。なお、施工については、PTA役員の皆様の努力奉仕をいただき、一方ならぬご尽力を賜りましたことを厚くお礼申し上げます。

防球ネット

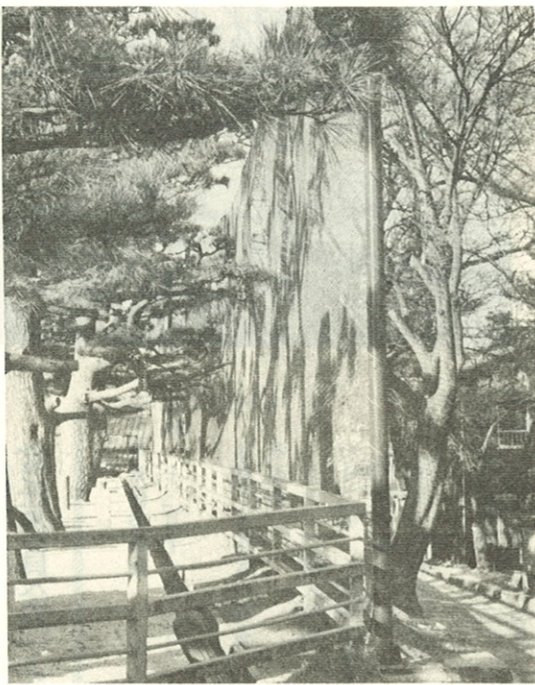
東正門から北側、約五十四米にわたって、ナイロン網による防球ネットを設置していただきました。今までボールが路上にころがり落ちたり、東側のおうちに落下するなど、危険を感じ、ご迷惑をおか

北口通用門

児童の登下校をはじめ、ご来校の多くの方が、ここを利用されています。新しい校門の設置によって、学校が一段と引きしまって見えます。今後、末永く児童に親しまれ、在学時代のよき思い出として残ることでしょう。(百周年事業費残余金より)

校長室引違棚の改造

引違棚の前面にガラス戸を入れ、すばらしい飾りケースのようにしていただきました。現在までにご寄贈を受けた地区の特産、万古焼の名器とともに、今後さらに校区内陶芸家の方々に、ご出品をご依頼申し上げ、大切に保存して参りたいと思っております。また、一方、今まで掲示板とし



防球ネット

強し、体をきたえ、年長者を敬い、年少者を導くようになって欲しいと思っております。

卒業にあたって次の言葉を贈りたいと思っております。

「不断の努力」

卒業を迎えて

山田 克子

歲月の過ぎるのは早いものです。六年前私の手を、しっかりとにぎりしめ親子ともども少し不安げな気持ちと、希望に胸をふくらませて、さくらの咲きほこるトンネルを、くぐった日が、ついこの間の様に、今でもはっきり脳裏に、焼きついていきます。思えばいろいろな事がありました。楽しかった運動会、遠足、修学旅行、グリンスクールと、子供と共に、私にとりまして、楽しい年月でした。

中学校に進むことを既定の事実と受けとめている子供よりは、私達親の方は、小学校と別れることがなにか一抹の寂しさに似た感傷が、胸をよぎる思いです。

無事に卒業を迎えられるのも一重に、諸先生方の教育と、PTAの役員様方の協力によるものと、感謝の念にたえません。私達の小学生の頃と、最近の小学生とは、内容もずいぶんひらきがあります。勉強の内容も進んでいて、体力的

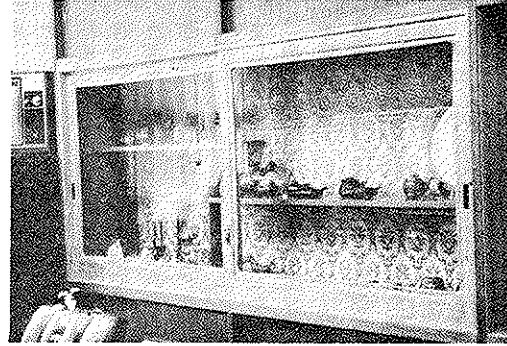
にも精神面にも、すぐれています。今年になってからも、新聞紙面をにぎわしている小学生の自殺問題は、親達が一つになって、考えなくてはならない問題です。学校で受ける事の出来ない家庭教育、もう一度真剣に考えなくてはならないと思います。精神と体力とのアンバランスを、親が補って、うまく導いて、子供自身の負担を、少しでも軽くなる様にと考えております。

中学生になる日を、目前に控え親の思いは、卒業の感激をしみじみかみしめながらも、早くも中学生になる子供とともに、中学生生活を見て近頃です。



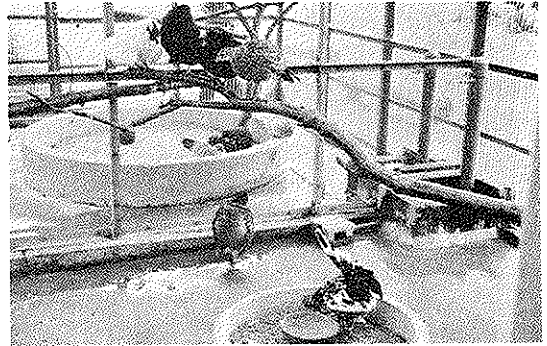


北口通用門



校長室引違棚

て利用していた片面を書架に改造していただき、学校保存の図書、法規集、アルバム等を納めております。(百周年事業費残余金より)



### ご寄贈のお知らせ

このたび、別名一丁目伊藤光博様から学校禽舎に左のとおり飼育鳥をご寄贈いただきました。

- 一、 高麗さじ 二羽
- 一、 ちゃぼ 五羽

きじ、ちゃぼともに、珍重される優れた品種で、五年生の手で飼育され、全校児童に愛され親しまれています。ご芳志に対しまして厚くお礼申し上げますとともに、動物愛護のよき教育素材として有効に役立て、だいに育てていきたいと思っております。

### 常任委員会だより

十二月常任委員会  
日時 十二月十一日(月)

一、 各部の本年度の反省  
二、 その他

。 ストリーブ購入の件  
。 十二月、一月の主なる学校行事予定  
。 餅切りの件について

一月常任委員会  
日時 一月二十二日(月)

一、 一月の専門部行事予定について

二、 一月の主なる学校行事予定について  
三、 その他

二月常任委員会  
日時 二月五日(月)

一、 新年度町代表、町委員選出の件について  
二、 二月の授業参観と懇談会について  
三、 その他

XXXXXXXXXX  
XXXXXXXXXXXX

で	す	く
さ	い	ど

○本年度最後の「しでの」をお届けします。

○「しでの」で人と知り合い、言葉をかまし、互いに心が通う会議室。

○赤鉛筆と辞典を片手にこの一年教えられることの多い事。

○編集日の連絡もらい、暇を作って、学校へ。

○心をこめて、書き綴られし原稿を、読んでいく内、心うたれ。

○「しでの」の集まりは、意欲を燃やして辞書を手に。

○希望に胸ふくらませ巣立ちゆく皆さん、健康に気をつけて、頑張ってくださいと祈りつつ。

○校長先生、諸先生、会長さん始め各部長さん、会員の皆様から御寄稿を頂き、有難うございました。

#### 編集委員

P 池内・市岡・伊藤・稲垣・

小原・片岡・金子・川上・

近藤・坂・高井・谷口・津滝

出口・野田・服部(一)・服部(倫)

福永・藤井・森・山田・

(酒井・水谷)

T 伊藤(鏡)・隅田・水谷・倉田・

鏡味・内山